

令和2年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
210011001	潜在能力の開発 Development of potential	寺部学長・安藤学部長・増田 教務委員長・龍田学生委員 長・山内就職指導委員長・寺 部副理・岡田会長・広中桃子		共通	2	必修	1年前期

科目の概要

初年次教育として家政学部の教育目標と自己ビジョンを明確にする授業です。その内容は、教育目標に掲げられているpisa型学力（智性）、四大精神（徳性）、社会人基礎力（行動）について理解します。社会に出てからも自己の潜在能力を可能性の限界まで開発するための3つの挑戦（苦手への挑戦・上達への挑戦・未知への挑戦）について理解します。さらに、本学の建学の精神である「生きる意志と生きる力と生きる喜びに満ち溢れた鵬のような大局的な存在となること」について理解します。これらの教育目標を学修行動と大学生活に展開して学生個々の4年間の未来設計図を作成します。

学修内容	到達目標
家政学部の教育目標と潜在能力の開発とは何か理解します。 pisa型学力、四大精神、社会人基礎力を理解します。 自己ビジョンとは何かを理解します。 人生の設計図を理解します。	家政学部の教育目標と潜在能力の開発とは何か理解できる。 pisa型学力、四大精神、社会人基礎力を理解できる。 自己ビジョンを明確にできる。 人生の設計図を作成できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	自己ビジョンを達成するために、自らやるべきことは何かを考えることができる。
	働きかけ力	目的・目標に向かって、物事に参加と協力、協働する行動ができる。
	実行力	活動の目的・目標を達成しようという意志を持っている。決めたこと、決められたことは確実に成し遂げようと行動し続けることができる。
考え抜く力	課題発見力	活動の目的・目標の達成に向かって、現状を把握し自ら「ここに問題があり、解決が必要」と提案することができる。
	計画力	課題解決のプロセスを明確にし、何をいつまでに実行するか計画を立てることができる。
	創造力	活動の中で発見する課題を解決する複数の手順（プロセス）を思考し、その中で最善のものは何かを提案することができる。
チームで働く力	発信力	自分の意見・考え・提案を持ち、それを分かりやすく整理して、相手に伝えることができる。
	傾聴力	相手の話に適切なタイミングで相槌、うなずきをしながら聴き、話しやすい環境をつくることができ、相手の話の内容をさらに明確にする質問ができる。
	柔軟性	相手の意見・考え・提案に相違点があっても反対するのではなく、まずは受容し自分と相手の意見・考え・提案を整理して、目的・目標に向かって前進させることを考えることができる。
	状況把握力	自分の立場・役割・使命を理解し、グループメンバーがどのような関係にあるのか、物事がどのように進行しているか把握し、目標・目的に向かって進められる行動ができる。
	規律性	人と人との約束ごとである一般社会のルールや慣習、あるいはチーム内のルールや慣習を守ることができる。
	ストレスコントロール力	ストレスを感じる出来事を自分の成長のチャンスだとポジティブに捉えることができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：配布する人生の設計図、年間目標、週間スケジュール、ワークシート（PCR）がテキストです。最終的には4年間の自分の教科書となります。  
参考文献：無限の可能性への道-社会人基礎力を育む一学泉ノート。

他科目との関連、資格との関連

家政学部の教育目標を達成する各科目のフレームを構成します。

学修上の助言	受講生とのルール
この授業では、眠っている能力を引き出し方について学びます。授業は自ら望んで受講している意識を持ち参加します。提示されたワークシート（PCR）を整理し、出題された課題に取り組みます。次の授業に備えて、指定された資料等を読み準備します。	自己の潜在能力を引き出す授業であることを意識し受講します。 やらされているという意識より、自ら望んで受講している意識を持って受講します。 授業内で決められたルールは、必ず守ります。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験		①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト		①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
		レポート	90	①	✓	(以下は本授業の到達目標の項目を人生の設計図、年間目標、週間スケジュール、ワークシートの内容で評価します) 家政学部教育目標と潜在能力の開発とは何か理解できる。 pisa型学力、四大精神、社会人基礎力を理解できる。 自己ビジョンが明確になっている。 人生の設計図が完成している。 S: ~ 全て対応している A: ~ のいずれか3つは対応している B: ~ のいずれか2つは対応している C: ~ のいずれか1つは対応している (Fの評価方法と評価) 家政学部教育目標と潜在能力の開発とは何か理解していない。 pisa型学力、四大精神、社会人基礎力を理解していない。 自己ビジョンを明確に理解していない。 人生の設計図が完成していない。
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤		
成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)			①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	以下の能力評価方法は、グループを担当する教員より特にどのような観点で評価するか具体的な説明をします。 <主体性> 自己ビジョンを達成するために、自らやるべきことは何かを考えることができる。 <実行力> 活動の目的・目標を達成しようという意志を持っている。決めたこと、決められたことは確実に成し遂げようと行動し続けることができる。 <課題発見力> 活動の目的・目標の達成に向かって、現状を把握し自ら「ここに問題があり、解決が必要」と提案することができる。 <創造力> 活動の中で発見する課題を解決する複数の手順(プロセス)を思考し、その中で最善のものは何かを提案することができる。 <発信力> 自分の意見・考え・提案を持ち、それを分かりやすく整理して、相手に伝えることができる。 <傾聴力> 相手の話に適切なタイミングで相槌、うなずきをしながら聴き、話しやすい環境をつくることができ、相手の話の内容をさらに明確にする質問ができる。 <規律性> 人と人との約束ごとである一般社会のルールや慣習、あるいはチーム内のルールや慣習を守ることができる。 以上の7つの能力要素は、ワークシート(PCR)の記述内容と授業内での行動より担当教員が評価します。全能力要素の評価基準は学泉ノートの評価レベルで判定します。レベル3以上で10ポイントの評価とします。レベル3以下の能力要素は1ポイント減点とします。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価 割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
家政学部教育目標と潜在能力の開発とは何か理解できる。 pisa型学力、四大精神、社会人基礎力を理解できる。 自己ビジョンが明確になっている。 人生の設計図が完成している。 ・ から 全てを明確に理解できている・・・S ・ から 全て明確ではないが、3項目は理解できている・・・A	家政学部教育目標と潜在能力の開発とは何か理解できる。 pisa型学力、四大精神、社会人基礎力を理解できる。 自己ビジョンが明確になっている。 人生の設計図が完成している。 から のうち2項目は明確になっている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	・オリエンテーション 本学のディプロマポリシー、授業の進め方 ・自己ビジョンの明確化と人生の設計図を作成 担当：安藤家政学部長	講義 当科目の教育目標、学修方法として、PCRシート、「無限の可能性への道」を活用することを理解する。 演習 自己ビジョンと人生の設計図を作成する。	・自己ビジョンが明確になる。 ・人生設計図の基本が6割作成できる。	(予習) 当科目のシラバスを読む。ビジョンを明確にする。 (復習) 人生の設計図を完成させる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2週 /	愛知学泉大学の教育目標(学則) 担当：寺部学長	本学の教育目標、pisa型学力、四大精神、社会人基礎力を理解する。	教育目標、pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の意味を理解できる。	(予習) 「無限の可能性への道」を読む。 (復習) 教育目標、pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の意味を明確にする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3週 /	・学修方法について 「無限の可能性への道(学修編)」 担当：増田教務委員長	講義 4年間の履修・学修方法を理解する。 「無限の可能性への道(学修編)」の活用法を理解する。	学修方法について理解できる。 「無限の可能性への道(学修編)」の活用法を理解することができる。	(予習) 「無限の可能性への道(学修編)」を読む。 (復習) 自己の学修方法を明確にする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4週 /	・学生生活について 「無限の可能性への道(学生生活編)」 担当：龍田学生委員長	講義 4年間の学生生活を理解する。 「無限の可能性への道(学生生活編)」の活用法を理解する。	学生生活について理解できる。 「無限の可能性への道(学生生活編)」の活用法を理解できる。	(予習) 「無限の可能性への道(学生生活編)」を読む。 (復習) 自己の大学生生活を明確にする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	・就職活動について 「無限の可能性への道(就職編)」 担当：山内就職指導委員長	講義 4年間の就職活動方法を理解する。「無限の可能性への道(就職編)」の活用法を理解する。	就職について理解できる。 「無限の可能性への道(就職編)」の活用法を理解できる。	(予習) 「無限の可能性への道(就職編)」を読む。 (復習) 自己の就職活動を明確にする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6週 /	本学創立の指針 ・人間の潜在能力の無限の可能性を信じて ・四大精神の実践とは 担当：寺部副理事長 ・川瀬同窓会長	講義 「四大精神を実践するとは」を理解する。	四大精神を活用して豊かな人生設計を考えることができる。	(予習) 四大精神とは何か理解する。 (復習) 「自己の人生設計図」に必要な四大精神を具体的に記述する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	ビジョン達成の設計図 担当：廣中桃子 (合同会社NIMAI-NITAI 代表)	講義 ビジョンを達成するまでの取り組みを実践例を通して理解する。	実践例を通して、「人生の設計図とは」を明確に理解することができる。	(予習) 「自己の人生設計図」を把握する。 (復習) 「自己の人生設計図」に必要な内容を記述する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	ビジョン達成の設計図 ・自己ビジョンと設計図をブラッシュアップ ・年間目標を作成 担当：安藤学部長	グループワーク ・自己ビジョンと設計図をグループワークにより、ブラッシュアップする。 ・ビジョン達成の1年間目標を立てる。	・自己ビジョンが明確なる。 ・設計図の基本が作成できる。	(予習) 「自己の人生設計図」を完成する。 (復習) ・「自己の人生設計図」を修正して、完成度をあげる。 ・年間目標を完成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	・潜在能力(主体性)の引き出し方を学ぶ ・学びのスキルを学ぶ 担当: 安藤学部長	講義・演習 ・潜在能力(主体性)とは何か。 ・潜在能力(主体性)を引き出す方法を体得する。 ・「生徒」と「学生」の学び方の違い ・タイムマネジメント ・何をどう学ぶのか	・潜在能力(主体性)とは何かを自分の言葉で他者に伝えることができる。 ・タイムマネジメントが作成できる。 ・何をどう学ぶか、記述できる。	(予習) 9週の学修内容を資料として配布する、その内容を理解する。 (復習) ・目標達成するために潜在能力(主体性)の活用方法を具体的に記述する。 ・タイムマネジメント、何をどう学ぶか。ワークシート(PCR)に記述する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10週 /	講義ノートのとり方を学ぶ 担当: 安藤学部長	講義・演習 ・講義ノートをとるコツを理解する。 ・ノートのとり方を実際に実施する。その後、学生間でノートのとり方について、ディスカッションする。	講義ノートのとり方のコツを理解することができる。	(予習) PCRシートのP(予習)を完成する。 (復習) PCRシートのR(復習)を完成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11週 /	テキストを読むとはより深く読む方法を学ぶ 担当: 安藤学部長	講義・演習 ・テキストを読むとは、より深くテキストを読む方法について理解する。 ・テキストを実際に読み、重要な部分をどのように抽出したか、学生間でディスカッションする。	テキストの読み方について、まとめ記述することができる。	(予習) PCRシートのP(予習)を完成する。 (復習) PCRシートのR(復習)を完成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12週 /	調べること・整理すること方法を学ぶ 担当: 安藤学部長	講義・演習 ・図書館、インターネットによる情報収集の方法について理解する。 ・情報の整理方法について理解する。 ・情報収集の実際について、ディスカッションする。	情報の収集方法について、まとめ記述することができる。	(予習) PCRシートのP(予習)を完成する。 (復習) PCRシートのR(復習)を完成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13週 /	わかりやすい文章作成の方法を学ぶ 担当: 安藤学部長	講義・演習 ・わかりやすい文を作成するコツを理解する。 ・実際に文を作成し、その後学生間でディスカッションする。	わかりやすい文を作成するコツを整理し、記述することができる。	(予習) PCRシートのP(予習)を完成する。 (復習) PCRシートのR(復習)を完成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14週 /	レポート作成の基本を学ぶ 担当: 安藤学部長	講義・演習 ・レポート作成を実際に行い。活用できているか学生間でディスカッションする。	レポートとは何かを理解し、レポート作成の手順を整理して、記述することができる。	(予習) PCRシートのP(予習)を完成する。 (復習) PCRシートのR(復習)を完成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	・ビジョンの確認 ・人生の設計図の見直し ・年間目標の見直し 担当: 安藤学部長	演習 8週で作成したビジョン、人生設計図、年間目標をブラッシュアップする。 ・完成したビジョン、人生設計図、年間目標を指導教授に宣言する。	明確なビジョンと人生設計図が作成できている。	(予習) PCRシートのP(予習)を完成する。 (復習) PCRシートのR(復習)を完成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力